



# 日本の 水石名品展をみて

松原 秀樹

水石とは 山石の景を小型に表現する日本の調和の石の天然芸術であって 古来多くの人に愛好されてきたが近年はとくに一般の関心も高く 大衆性を帯びてきたものである。水石の定義範囲は人によって異なるようであるが 価値条件として 形状 色調 石質(緻密 堅硬 不変性)にあると言われている。これについてはこの方面の案内書も少なくなく また 地質ニュース112号によってあらまし紹介されているところである。

前記条件の中で石質については われわれのしごととあながち無縁でないので 無料であるが岩石地質の上から水石をながめてみたいと思っていた。

たまたま今夏 東京日本橋の三越で第4回日本水石名品展が催され 数多くの名品を見る機会を得た。その1つ1つのもつ雅趣は門外漢なりにも印象づけられたがこの機会に 水石の石質についてもあわせて注目してみた。ただし 出品物に直接手をふれることはできないし 離れた位置からの概観であるので 岩石として不明確なものも多かった。

## 1 石質の分類

出品物を大別すると岩石系 鉱物系 化石系に分けられるが この中 岩石系がほとんど大部分をしめている。岩石系を分類すると

- A 変成岩に属するもの  
結晶片岩 千枚岩 ホルンフェルス
- B 堆積岩に属するもの  
チャート 粘板岩 頁岩 砂岩 輝緑凝灰岩など
- C 火成岩に属するもの  
輝緑岩 閃緑岩など

であって A Bは一般に形 色に主眼がおかれ Cは模様構造が強調されている。全般にそれぞれの岩石の物理的性質が 水石の形に特長具現されており また 岩石地質上 ち密堅硬に属し あるいは古い地質時代に生成された岩石が やはり著名な水石に多く見られる。



水石のタイプ

鉱物系は色彩に主眼がおかれ 出品物には 孔雀石(炭酸銅の鉱物) 碧玉(石英の1種)などがみられるが 数は少ない。化石系も出品点数は少ない。梅花石(古生代=約2億年前の海百合の化石) 木化蛋白石などである。

## 2 水石著名産出地の岩石

### イ) 神威古潭の石

北海道の背骨である日高神威古潭変成岩 (原岩は中生代ジュラ紀=約1億5千万年前に生成され白亜紀末=約6千万年前に変成)に属し 石墨石英片岩(黒白片岩) 角閃石片岩(緑黒色片状) 藍閃石片岩(青緑色片状) 石英片岩(白色片状)が普通に見られ 赤色片岩として赤鉄鉱片岩また1部に紅簾石片岩を産すると言われている。

日高地方ではホルンフェルスがある。この地域から多くの名品が出品されている。

### ロ) 好間川(福島県)の石

地質の上では阿武隈変成岩に属し 後出の三波川変成岩と同じく 古生代末(約2億年前)に変成したものとされている。岩石は角閃石片岩(緑黒色片状) 石墨片岩(黒色片状) 黒雲母片岩(黒褐色片状) 石英片岩(白色片状)を主としている。

### ハ) 秩父長瀬 鬼石の石

三波川変成岩に属し 日本のもっとも古い岩石の1つとして知られている。この変成岩は当地域のほか 中部地方中央部から紀伊半島中央 四国地方中央を通り九州におよぶ一連の帯状に分布して 各地で特色のある水石を産出している。岩石は 紅

簾石片岩 赤鉄鉱片岩（赤色片状） 緑泥石片岩  
 緑簾石片岩（緑色片状） 石墨片岩 角閃石片岩  
 藍閃石片岩 石英片岩などきわめて多種である。  
 この中 紅簾石片岩はとくに岩石学上世界的に著名  
 である。

二) 佐治川（鳥取県）の石

三郡変成岩（古生代末の変成とされている）に属  
 する結晶片岩が さらに熱を受けホルンフェルスと  
 なったもの。 凹凸の多い緑黒色—黒色しま状を  
 呈する。

ホ) 奥秩父 多摩川の石

古（二疊紀 秩父古生層）・中生代（時代未詳  
 小河内層群）のチャート 粘板岩 砂岩。

へ) 大井川の石

中生代（時代未詳 四万十層群）の砂岩

ト) 揖斐川（岐阜県）瀬田川 加茂川（京都付近）の石

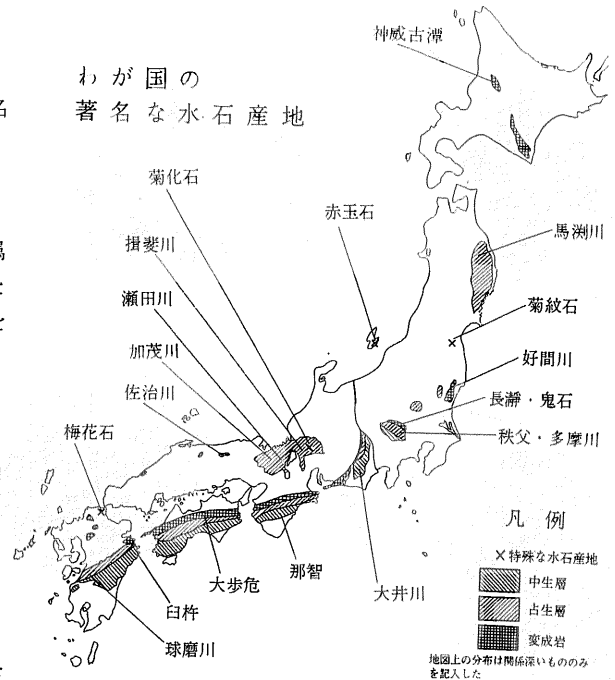
いずれも古生代二疊紀（秩父古生層=約2億年前  
 ）のチャート 粘板岩 砂岩 輝緑凝灰岩などである。  
 この中 チャートはわが国では古生層に特有  
 の岩石で 塊状 板状の層をなし 色は赤 青 白  
 黒灰などを呈し ち密堅硬 脂肪光沢を示し 石質  
 としてもっとも上質に属するものである。 粘板岩  
 は黒色 板状の層をなし 独特の形となって 段石  
 となるものが多い。 秩父古生層は これらの地域  
 のほか 北上山地 関東地方（奥秩父 足尾・八溝  
 山塊）西南日本外帯 その他日本各地に広く分布し  
 ている地層である。

チ) 那智の石

中生代（時代未詳 四万十層群）に属する黒色珪  
 質頁岩で 俗に試金石とも言われる。 岩石は瀨八  
 丁に露出し 熊野川にはその転石がよく落ちている。  
 漆黒色堅硬な岩石であって 基石に用いられている  
 ことは有名。

以上 著名な水石産地の1部を紹介したが このほか

わが国の  
 著名な水石産地



火成岩系の菊花石（岐阜県）など なお有名産地も少なく  
 ない。

もともと水石は芸術であって 科学とは無関係にある。  
 しかし すべての石には何千万年あるいは何億年という  
 自然史を秘めている。 石が「いつできたのか」「ど  
 うしてできたのか」を考えたとき そこにある偉大な自然  
 の神秘さには誰しも驚かざるを得ない。 人間界をは  
 るかに隔てた地球史の落し子として ときに無心の石を  
 見直して見たいものである。 水石についても 一般観  
 賞の中に石そのものの自然科学観が含まれるとき また  
 別の意義価値づけが生まれてこよう。

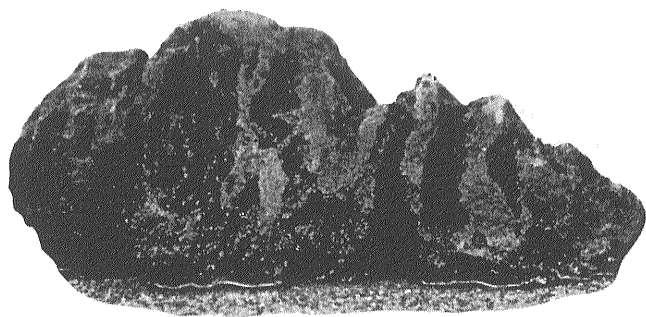
（筆者は地質部 写真：正井義郎）



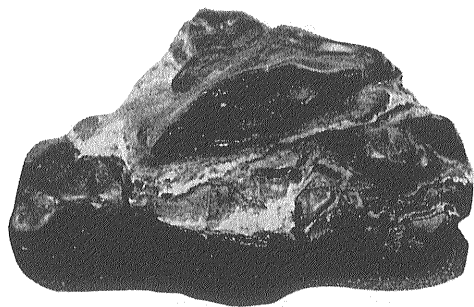
↑ 神居古潭石「石狩の春」



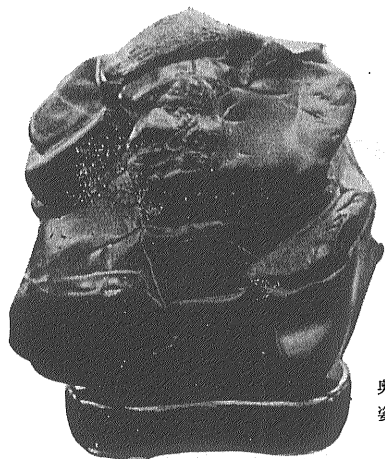
神居古潭舟形石  
 「孤 塚」



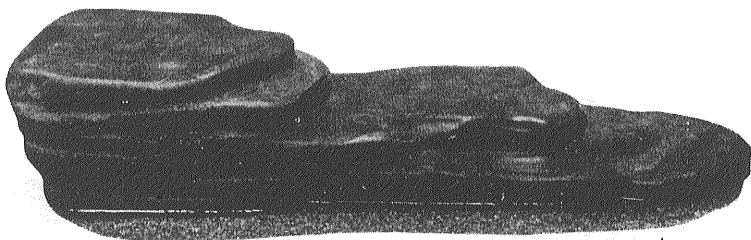
好間川石「九霞峯」



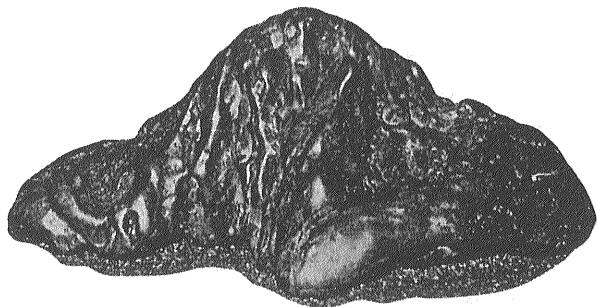
佐渡五色石



奥武蔵産  
姿石「大黒」



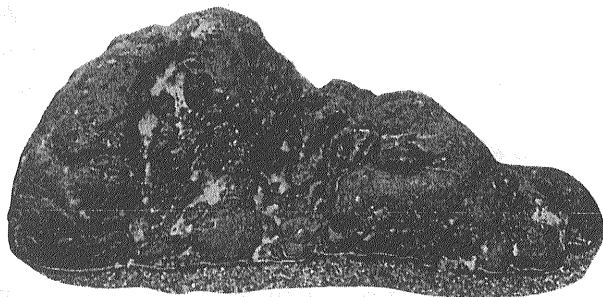
瀬田川虎石「甘露台」



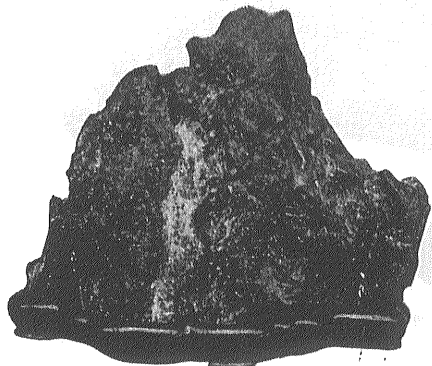
只見川石



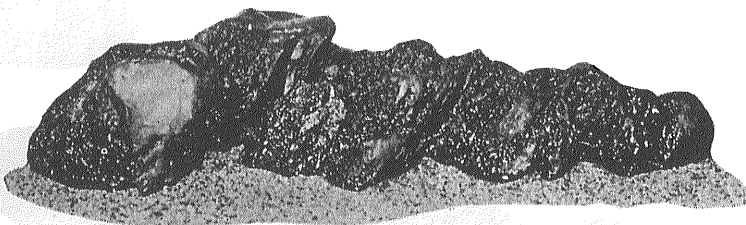
鞍馬水溜石



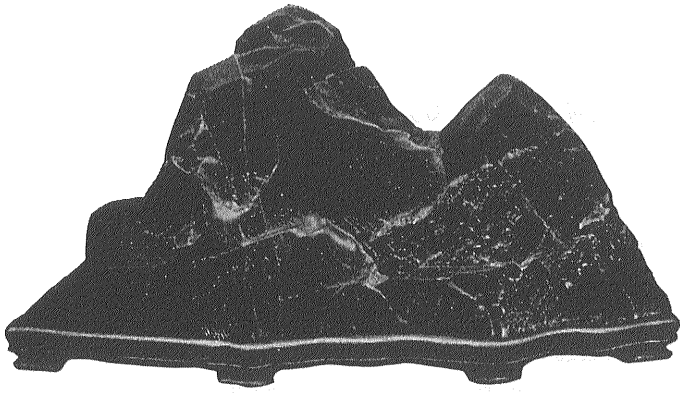
富士川産遠山石



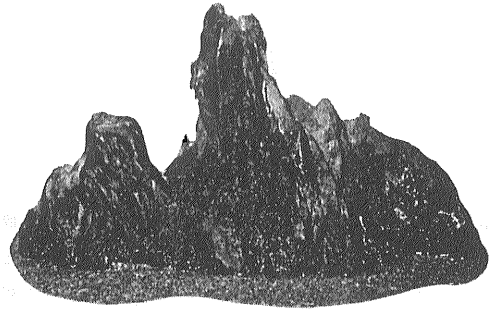
加茂川産雲ヶ畑石



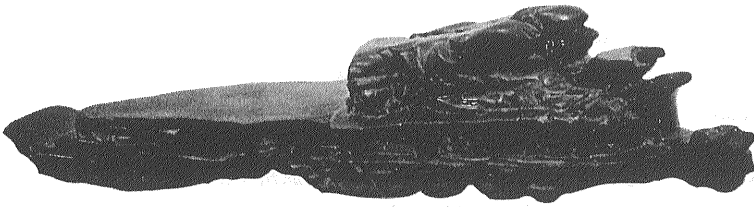
加茂川産真黒岩形石



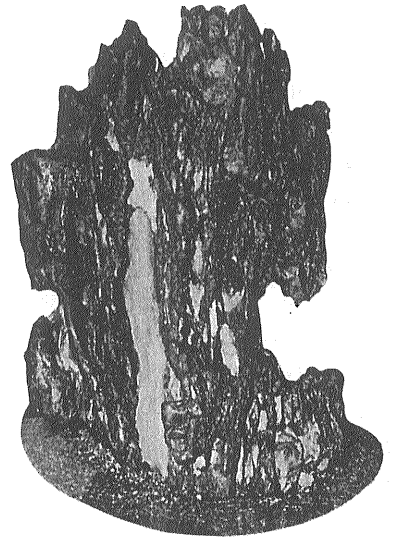
那 智 黑 石



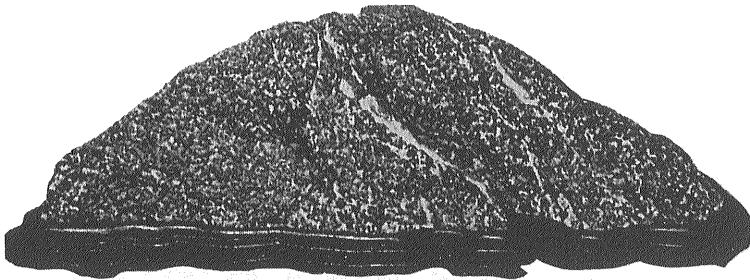
佐 治 川 産 島 形 石 「泰 山」



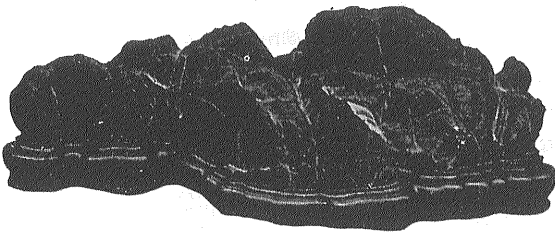
丹 波 赤 石 「紫 雲 段 丘」



丹 波 滝 石



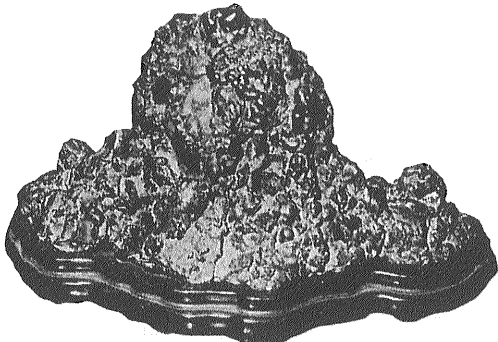
矢 掛 石 遠 山 石 「夏 山 雨 后」



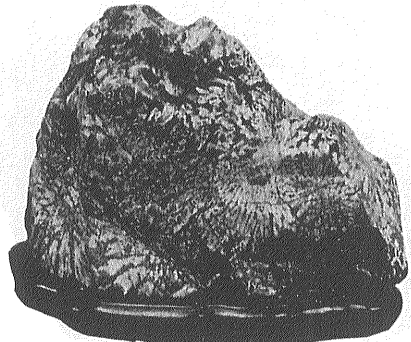
古 谷 石



白 杵 遠 山 石



孔 雀 石



菊 花 石 「華 光 神 心」